

クックパッドデータセットを用いた山口県郷土料理の伝承実態調査

山下晋平*1

(*1 宇部フロンティア大学短期大学部食物栄養学科)

Survey on the transmission of local cuisine in Yamaguchi Prefecture using the Cookpad Dataset

Shinpei Yamashita*1

(*1 Department of Food and Nutrition, Ube Frontier College)

本研究は、食育基本法制定から第2次食育推進基本計画期における家庭での郷土料理の伝承実態を明らかにするため、クックパッドデータセットを用いてクックパッドで2014年9月30日までに公開された山口県郷土料理を分析した。分析した結果、対象とした山口県の郷土料理でレシピ投稿が確認できたのは8品目のみであり、投稿は「瓦そば」および「けんちょう」の2品に集中していた。これらの料理は、他の料理と比較して平均材料数および平均工程数が少ない傾向を示し、デジタルプラットフォーム上での伝承において「簡便性」が重要な要因であることを示唆した。また、レシピ投稿数とつくれば数には有意な正の相関が認められた。「つくれば」のテキストマイニング分析からは、利用者の調理行動は「美味しい」という味の評価と「懐かしい」という感情的な結びつきに強く影響されていることが示唆された。これらの結果から、クックパッドのようなデジタルプラットフォームは、レシピの簡便性と感情的な結びつきを通じて、家庭での郷土料理の調理という行動を促し、伝承を支える重要な役割を果たしている可能性があると考えられる。

キーワード：クックパッドデータセット, 郷土料理, 山口県, 伝承

Keyword: Cookpad dataset, local cuisine, Yamaguchi Prefecture, transmission

1. 緒言

平成17年6月に制定された食育基本法¹⁾には、伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮が盛り込まれ、第2次食育推進基本計画²⁾では、子どもが早い段階から伝統的な食文化について興味・関心をもって学ぶことができるよう、学校給食で郷土料理等を積極的に導入することで、伝統ある食文化の継承が推進されてきたものの家庭における伝承については調理体験等を推進するという文言のみであった。しかし、第3次食育推進基本計画³⁾では食文化伝承が重点課題の1つとなり、第4次食育推進基本計画⁴⁾においても「日本の伝統的な和食文化の保護・継承」と継続的な問題としてあげられている。これらの政策が示すように、日本の食文化伝承は継続的な課題である。

近年、スマートフォンの普及とインターネット環境の整備により、レシピ動画が新たな伝承手段として注目されてきている。第4次食育推進基本計画におい

ても、デジタル化に対応した食育の推進を掲げており、行政レベルでもその有効性が認められていると考えられている。だが、主な動画プラットフォームとして考えられているYoutubeは2007年、Youtubeショートは2021年、TikTokは2017年、クラシルは2016年、DELISH KITCHENは2015年にサービスが開始されており、プラットフォームとして実施・運用されている期間は短く、多くのプラットフォームが第3次食育推進基本計画以降に開始されたものである。

このことから、本研究は、食育基本法策定から第2次食育推進基本計画(2015年まで)における家庭での郷土料理の伝承実態に着目した。この期間における家庭料理の実態を反映しているデータとして、最もよく閲覧するレシピサイトとして81%がクックパッドと報告されていた⁵⁾ことから、本研究では、クックパッドデータセットを用いて分析を行った。

2. 方法

2.1. 調査対象とクックパッドデータ

(1)対象料理

先行研究⁶⁾で選定した全20品のうち、料理名などで郷土性が判断しがたい料理(茶がゆ、柏餅、わさびしょうゆ漬、鶏飯、ぬた)を除外し、「うちの郷土料理」⁷⁾に掲載されておりメディア等でも広く知られている瓦そばとチキンチキンごぼうを加えた合計17品(瓦そば、チキンチキンごぼう、けんちょう、岩国寿司、ちしゃなます、いとこ煮、さんばい、つしま、わかめおむすび、大平、南蛮煮、ささげごはん、そうめんなすび、瀬戸貝飯、唐すし、そうめんうりの酢の物、むかご飯)を調査対象とした。

(2)クックパッドデータ

クックパッドデータセット⁸⁾とは、クックパッド株式会社が国立情報学研究所と協力して研究者に提供しているデータセットであり、2014年9月30日までに公開された172万品のレシピやそれらからなる献立に関するデータが含まれているものである。本研究では、そのクックパッドデータセットを使用し、対象料理の投稿レシピを網羅的に収集した。

2.2 データの収集と基準

(1)データの収集方法

クックパッドデータセットより、対象となる17品目の料理名を検索キーワードとし、レシピ投稿を網羅的に抽出し、①レシピタイトル、②投稿日、③調理工程のテキスト、④材料リスト、⑤つくれぽを収集した。

(2)データの採用・除外基準

データの信頼性と客観性を担保するため、料理名が同一であっても内容が異なるレシピ(例:「いとこ煮」と記載されているが、実際には「かぼちゃのいとこ煮」であるもの)はすべて除外した。

2.3. 分析方法

各料理のレシピ投稿数、つくれぽ数、平均材料数、平均工程数を算出しIBM SPSS Statistics 23を用いて、レシピ投稿数とつくれぽ数の間の相関関係をPearsonの積率相関係数を用いて分析した(検定の有意水準は5%)。

また、つくれぽの投稿内容については、ユーザーローカル テキストマイニングツール⁹⁾により分析を行

った。投稿内容はテキストマイニング分析を行う前に、①絵文字、顔文字、文末の感嘆符(☆、♪など)など削除、②意味が同じでも表記が異なる単語(例:「おいしい」と「美味しい」)を統一する前処理を行った。テキストマイニング分析後、誤って名詞として認識した動詞の活用形(例:「作りました」)や、意味を特定できない単語はストップワードとして登録し、分析から除外した。

3. 結果及び考察

3.1. 山口県郷土料理のクックパッドへのレシピ投稿状況

山口県郷土料理のクックパッドへのレシピ投稿状況について表1に示す。調査対象とした山口県の郷土料理17品目のうち、レシピ投稿が確認できたのは8品目のみであり、残りの9品目については投稿がなかった。投稿されたレシピは「瓦そば」が全体の約66%(88件/133件)を占めており、他の料理と比べて投稿が突出していることが明らかになった。

レシピ投稿の時系列を見ると、2000年から2006年頃までは年間数件程度と少なかったが、2007年以降、特に2010年代にかけて増加傾向にある。この時期はクックパッド全体のレシピ投稿数が増加¹⁰⁾していたことから、郷土料理のレシピ投稿数の増加は、プラットフォームのユーザー数及びレシピ投稿数の増加という内的要因に強く影響を受けた可能性があると考えられる。

しかし、このレシピ投稿の増加は単なるプラットフォームの成長だけではなく、食育基本法の制定や、第2次食育推進基本計画の策定、あるいはユネスコへの和食の登録といった社会的・政策的な外的要因が、ユーザーの投稿するレシピ内容に影響を与えた可能性も示唆された。この点を明らかにするため、今後は山口県の郷土料理だけではなく、全国各地の郷土料理及び行事食などへ範囲を広げ、さらなる分析を行っていく。

表1 山口県郷土料理のレシピ投稿の推移

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	合計
瓦そば	1	0	0	0	2	2	0	1	3	8	10	14	12	10	13	12	88
けんちょう	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3	3	7	3	1	2	6	30
そうめんうりの酢の物	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	5
チキンチキンごぼう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
岩国寿司	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
大平	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
むかご飯	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
さんばい	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
年別合計	1	0	0	0	2	3	0	3	8	13	13	21	17	16	17	19	133

3.2. 投稿されたレシピの特性（材料数と工程数）

投稿されたレシピの材料数および工程の平均および標準偏差を表2に示した。投稿数が多かった「瓦そば」と「けんちょう」は、平均材料数と平均工程数が全体の平均を下回ることが明らかになった。特に「瓦そば」は、材料数が10.1、工程数が6.1と、投稿数が多いにもかかわらず比較的シンプルなレシピであるという特徴が示された。このことから、材料が少なく、調理工程がシンプルである料理ほど、クックパッドのようなプラットフォームに投稿されやすい傾向が示唆された。

その一方で、投稿数の少ない「岩国寿司」は、平均材料数が22.5、平均工程数が11.5と、全体の平均を上回っており、手間がかかる料理は家庭で気軽に作られにくく、デジタルプラットフォームにも投稿されにくい可能性が考えられた。

以上のことから、クックパッドに代表されるデジタルプラットフォーム上では、伝統的な郷土料理の中でも「簡便性」が伝承の重要な要因と推察され、手軽に作れる料理が新しい伝承の形として定着しつつある可能性がある。このような状況を踏まえると、従来のレシピを現代の生活様式に合わせて工夫し、プラットフォーム上で普及させていくと同時に、手間がかかる伝統的な作り方をいかにして後世に残していくかが今後の重要な課題と考えられた。

表2 投稿されたレシピの材料数と工程の平均

	平均材料数	平均工程数
全体 (n=133)	14.7±12.0	8.8±7.4
瓦そば (n=88)	10.1±3.8	6.1±2.9
けんちょう (n=30)	8.5±1.6	4.7±1.4
そうめんうりの酢の物 (n=5)	5.0±1.0	5.2±1.3
チキンチキンごぼう (n=3)	7.7±0.6	9.3±4.2
岩国寿司 (n=2)	22.5±12.0	11.5±3.5
大平 (n=2)	14.0±2.8	4.5±2.1
むかご飯 (n=2)	7.5±2.1	3.5±0.7
さんばい (n=1)	8	4

※数値は平均値±標準偏差 (SD) を示し、n=1の場合は平均値のみを記載

3.3. 山口県郷土料理のつくれば投稿状況

山口県郷土料理のつくれば投稿状況を表3に示した。レシピ投稿数と同様に、「つくれば」も「瓦そば」と「けんちょう」の2品に集中しており、合計の約96% (944/983) を占めていた。特に「けんちょう」は、「つ

くれば」の数が「瓦そば」を上回っており、レシピ投稿数以上に多くの家庭で実際に作られていることが明らかとなった。

また、レシピ投稿数とつくれば数の関係を分析した結果、両者には有意な正の相関関係があることが明らかとなった ($r = 0.80, p = 0.018$)。このことは、レシピ投稿数が多い料理 (瓦そば、けんちょう) は「つくれば」も多く、逆に投稿数が少ない料理 (岩国寿司、大平など) は「つくれば」も少ないという傾向が明らかとなった。

つくればの投稿内容を分析した結果を表4に示した。作った利用者の評価には「美味しい」が最も多く、次いで「優しい」「懐かしい」といった言葉が頻出していることが明らかになった。「美味しい」は「簡単」(表4c) や「優しい」(表4b) といった形容詞と組み合わせることが多く、調理の手軽さや味の優しさが評価されていることが示唆された。このことから、投稿数が多い「瓦そば」や「けんちょう」が、単にレシピの簡便性 (表2) だけでなく、「美味しい」という味の評価と、「懐かしい」という個人的な思い出という、複数の要素が組み合わさっていることにあると示唆された。よって、デジタルプラットフォーム上での郷土料理の伝承は、レシピの手軽さを通じて「作ること」のハードルを下げると同時に「美味しい」という満足感や「懐かしい」という感情的な結びつきを強めることが重要であると考えられた。

以上のことからクックパッドのようなプラットフォームは単なる情報共有プラットフォームではなく、簡便なレシピの提供と感情的な結びつきを通じて、家庭での郷土料理の調理という行動に影響を与えている可能性が示唆された。そのため、デジタルプラットフォームを通じて郷土料理を伝承・普及させるためには、まずプラットフォームにレシピを掲載することが不可欠である。手間のかかる伝統的な料理であっても、デジタルプラットフォーム上にレシピが存在することで、「作ってみよう」という意識を喚起し、家庭での調理へと繋げ、レシピを通じた郷土料理の伝承を増やすことが可能であると考えられた。

4. まとめ

本研究は、クックパッドデータセットを分析することで、食育基本法策定から第2次食育推進基本計画期における家庭での郷土料理の伝承実態の一端を明らかにした。分析した結果、デジタルプラットフォーム上

では、「簡便性」が郷土料理の普及において重要な鍵となること、そしてレシピの簡便さに加えて「美味しい」という満足感と「懐かしい」という感情的な結びつきが、家庭での調理を促進する行動変容と関連していることが示唆された。これは、クックパッドのようなプラットフォームが単なる情報共有の場ではなく、簡便性と感情的な訴えを通じて、伝統的な食文化の伝承に影響を与えている可能性がある。したがって、伝承・普及のためには、まずデジタルプラットフォームにレシピを掲載し、利用者の「作ってみよう」という意識を喚起することが不可欠であることが示唆された。

しかし、本研究は2014年9月までのデータという限定された期間での分析であり、その後の長期的なトレンドや、郷土料理に固有の季節性の変化について、今後は調査分析していく必要がある。

5. 謝辞

本研究は、国立情報学研究所のIDRデータセット提供サービスによりクックパッド株式会社から提供を受けた「クックパッドデータセット」を利用した成果によるものである。

表3 山口県郷土料理のつくれば投稿

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	合計
瓦そば	0	0	0	0	0	0	0	9	17	19	21	30	69	86	85	89	425
けんちょう	0	0	0	0	0	0	0	32	24	23	128	28	74	45	79	86	519
そうめんうりの郡の物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4	0	8
チキンチキンごぼう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	17	2	26
岩国寿司	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
大平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
わかご飯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
さんばい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
年別合計	0	0	0	0	0	0	0	41	41	42	151	58	144	140	187	179	983

表4 つくればで出てきた言葉の出現頻度

a)名詞(上位10)			b)形容詞(上位10)			c)名詞-形容詞(上位10)		
順位	単語	出現頻度	順位	単語	出現頻度	順位	名詞-形容詞	出現頻度
1	味	251	1	美味しい	523	1	味-美味しい	32
2	リビ	83	2	優しい	100	2	簡単-美味しい	11
3	瓦そば	79	3	懐かしい	98	3	そば-美味しい	9
4	大好き	74	4	甘い	39	4	カリカリ-美味しい	7
5	レシピ	44	5	すごい	35	5	バリバリ-美味しい	7
6	山口	41	6	良い	33	6	味付け-美味しい	6
7	そば	37	7	嬉しい	14	7	麵-美味しい	5
8	簡単	36	8	うまい	13	8	味-懐かしい	4
9	けんちょう	34	9	甘い	8	9	味-濃い	3
10	大根	31	10	有難い	6	9	どこか-懐かしい	3
						9	本当-美味しい	3
						9	ヘルシー-美味しい	3

6. 引用文献

- 1) 内閣府, 食育基本法, 2005
- 2) 内閣府, 第2次食育推進基本計画, 2011
- 3) 農林水産省, 第3次食育推進基本計画, 2016
- 4) 農林水産省, 第4次食育推進基本計画, 2021
- 5) クックパッド株式会社, 料理に関するアンケート結果, 2013, <https://cf.cpcdn.com/info/assets/wp-content/uploads/20140306000000/pr130723-survey.pdf> (2025/12/24閲覧)
- 6) 山下晋平, 山口県の保育所・幼稚園給食における郷土料理の提供頻度について, 日本調理科学会誌, 51(2), 112-118, 2018
- 7) 農林水産省, うちの郷土料理, https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/, (2025/12/24 閲覧)
- 8) クックパッド株式会社, クックパッドデータ, 国立情報学研究所情報学研究データリポジトリ(データセット), <https://www.nii.ac.jp/dsc/idr/cookpad/> (2025/12/24 閲覧)
- 9) 株式会社ユーザーローカル, ユーザーローカルAI テキストマイニングツール, <https://textmining.userlocal.jp/> (2025/12/24 閲覧)
- 10) クックパッド株式会社, 沿革:クックパッドの歩み, https://info.cookpad.com/news/press_2015_0331 (2025/12/24 閲覧)